

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成17年4月7日(2005.4.7)

【公表番号】特表2004-505113(P2004-505113A)

【公表日】平成16年2月19日(2004.2.19)

【年通号数】公開・登録公報2004-007

【出願番号】特願2002-516326(P2002-516326)

【国際特許分類第7版】

A 6 1 K 48/00

A 6 1 K 35/76

A 6 1 K 38/00

A 6 1 P 29/00

A 6 1 P 37/06

C 0 7 K 14/035

C 1 2 N 15/09

【F I】

A 6 1 K 48/00

A 6 1 K 35/76

A 6 1 P 29/00

A 6 1 P 37/06

C 0 7 K 14/035

C 1 2 N 15/00

A

A 6 1 K 37/02

【手続補正書】

【提出日】平成15年5月28日(2003.5.28)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

調節因子に操作可能に連結した、目的のポリペプチドをコードする核酸を包含するベクター；並びに

下記からなる群より選ばれてなる1種以上の成分

i) g D 蛋白質；

i i) g D 蛋白質の機能的断片；

i i i) 調節因子に操作可能に連結した、g D 蛋白質をコードする核酸；及び

i v) 調節因子に操作可能に連結した、g D 蛋白質の機能的断片をコードする核酸を包含する組成物。

【請求項2】

調節因子に操作可能に連結した、g D 蛋白質をコードする核酸を包含する、請求項1に記載の組成物。

【請求項3】

g D 蛋白質と目的のポリペプチドとをコードする核酸を包含する、請求項2に記載の組成物。

【請求項4】

g D 蛋白質を包含する、請求項1に記載の組成物。

【請求項 5】

該 g D 蛋白質がベクター内に組み込まれていることを特徴とする、請求項 4 に記載の組成物。

【請求項 6】

該ベクターがウイルスベクターであることを特徴とする、請求項 1 ~ 5 のいずれかに記載の組成物。

【請求項 7】

該目的のポリペプチドがヒトポリペプチドであることを特徴とする、請求項 1 ~ 6 のいずれかに記載の組成物。

【請求項 8】

該 g D が H S V - 1 g D であることを特徴とする、請求項 1 ~ 7 のいずれかに記載の組成物。

【請求項 9】

該 g D が H S V - 2 g D であることを特徴とする、請求項 1 ~ 8 のいずれかに記載の組成物。

【請求項 10】

請求項 1 ~ 9 のいずれかの組成物より成る、免疫応答抑制剤。